

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	伊手山村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	伊手振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農山村における定住促進と市民の健康増進に寄与する。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	野球場、テニスコート及びゲートボール場、運動場、駐車場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	伊手山村広場		3,935	3,032	2,889	3,157	
							3
	(計)	3,935	3,032	2,889	3,157	109.3	
〔利用者の増減理由〕 グラウンドゴルフ大会やスポーツ少年団活動等の参加者増のため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料		使用料		
						賃貸料		賃貸料		
						その他		その他		
						計(A)	0	計(A)	0	
	計	0	0	0						
	支出	人件費	0		0	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		消耗品費	61,496		61,496		委託料		委託料	
		光熱水費	143,052		143,052		需用費		需用費	
		手数料	10,571		10,571		その他		その他	
						計(B)	0	計(B)	0	
					支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
					歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
計		215,119	0	215,119		備品購入費		備品購入費		
損益	△ 215,119	0	△ 215,119	負担金	1,000,000					
				計(C)	1,000,000	計(C)	0			
				支出(B+C-A)		1,000,000	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員			0 人	市の正職員			0 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度 指定管理者損益	△ 215,119 円		評価		
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	指定管理によって、使用申請の受付・許可、 鍵の開閉等に係る職員の人件費等が軽減されて いる。 なお、平成30年度においては臨時的にグラウ ンドの機能回復作業に係る原材料相当分を負 担した。				〔行革効果額の積算根拠〕				2	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○	-	3
自主事業	地区民運動会他	○	-	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	-	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-	-	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	-	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	-	-	-	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	-	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等がなかったことを確認した。	-	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	-	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	-	-	-	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	-	-	-	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなし。関係機関への連絡、対応が適切に行われる体制となっていることを確認した。	-	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	-	-	-	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	-	-	-	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価 3
	利用者アンケート	調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価	要望・苦情はなかった。	
		苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	田原地区農村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	田原振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農村地域における定住と市民の健康増進及び体験学習、各種イベント等に寄与する。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、野球場、駐車場、管理棟		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	田原地区農村広場	2,680	2,984	2,960	3,702	125.1	
(計)	2,680	2,984	2,960	3,702	125.1		
〔利用者の増減理由〕 運動会、ソフトボール試合、田原グラウンドゴルフ同好会等の参加者増のため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料		使用料		
				0		賃貸料		賃貸料		
				0		その他		その他		
				0						
	計	0	0	0		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		消耗品費	79,169		79,169		委託料		委託料	
		光熱水費	89,566		89,566		需用費		需用費	
		手数料	21,473		21,473		その他		その他	
		鍵管理謝礼	12,000		12,000	計(B)	0	計(B)	0	
除草剤散布謝礼		89,370		89,370	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
計		291,578	0	291,578	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
				備品購入費			備品購入費			
損益	△ 291,578	0	△ 291,578	計(C)	0	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0 人		市の正職員		0 人				
	臨時・非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員		0 人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度 指定管理者損益	△ 291,578 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕 0 円				評価		
	指定管理によって、使用申請の受付・許可、 鍵の開閉等に係る職員の人件費等が軽減されて いる。			〔行革効果額の積算根拠〕				2		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	0	0	0			
市支出額				0	0	0				
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○	-	3
自主事業	地区民運動会	○	-	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	-	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-	-	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	-	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	-	-	-	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	-	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等がなかったことを確認した。	-	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	-	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	-	-	-	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	-	-	-	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなし。関係機関への連絡、対応が適切に行われる体制となっていることを確認した。	-	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	-	-	-	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	-	-	-	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価 要望・苦情はなかった。		
	苦情・改善要望等	トイレの洋式化が望まれている。		
				3

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	4	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	稲瀬地区農村広場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	稲瀬振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農村地域における定住と市民の健康増進及び体験学習、各種イベント等に寄与する	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、野球場、駐車場、管理棟		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	稲瀬地区農村広場	4,000	2,666	2,050	2,000	97.6	
(計)	4,000	2,666	2,050	2,000	97.6		
〔利用者の増減理由〕 江刺グラウンドゴルフ稲瀬支部活動等の利用者微減のため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料		使用料		
						賃貸料		賃貸料		
						その他		その他		
				0						
	計	0	0	0		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		消耗品費	46,555		46,555		委託料		委託料	
		光熱水費	32,987		32,987		需用費		需用費	
		手数料	30,547		30,547		その他		その他	
		作業代	54,000		54,000		計(B)	0	計(B)	0
					支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
					歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
計		164,089	0	164,089		備品購入費		備品購入費		
損益	△ 164,089	0	△ 164,089	計(C)	0	計(C)	0			
				支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員			0 人	市の正職員			0 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度 指定管理者損益	△ 164,089 円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	指定管理によって、使用申請の受付・許可、 鍵の開閉等に係る職員の人件費等が軽減されて いる。				〔行革効果額の積算根拠〕				2	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
市支出額					0	0	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○	-	3
自主事業	地区民運動会	○	-	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	-	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-	-	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	-	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	-	-	-	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	-	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等がなかったことを確認した。	-	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	-	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	-	-	-	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	-	-	-	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなし。関係機関への連絡、対応が適切に行われる体制となっていることを確認した。	-	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	-	-	-	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	-	-	-	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価 3
	利用者アンケート	調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価	要望・苦情はなかった。	
		苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	江刺伝統文化等保存伝習館	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	伊手第5区自治会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日（3年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	郷土の芸能と伝統文化を保存伝習するとともに、後継者の育成を図り、世代を超えた地域住民の連帯感を醸成する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料のみ
施設概要	伝習室、談話室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺伝統文化等保存伝習館	668	642	728	652	89.6	
(計)	668	642	728	652	89.6		
〔利用者の増減理由〕 蘇民祭参加者、鹿踊り練習会、自治会活動等の参加者減のため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	30,000		30,000	歳入	使用料		使用料		
	運営協力金	110,000		110,000		賃貸料		賃貸料		
				0		その他		その他		
				0						
	計	140,000	0	140,000		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0		0	歳出 ※経常的	指定管理料	30,000	人件費	
		光熱水費	76,828		76,828		委託料	27,000	委託料	68,250
		手数料	18,067		18,067		需用費		需用費	
		交通費	3,000		3,000		その他		その他	
		防災管理者受講料	7,500		7,500		計(B)	57,000	計(B)	68,250
					支出(B-A)	57,000	支出(B-A)	68,250		
					歳出 ※臨時的	維持修繕費	13,960	維持修繕費		
計		105,395	0	105,395		備品購入費		備品購入費		
損益	34,605	0	34,605	計(C)	13,960	計(C)	0			
職員配置	常勤職員		0人	市の正職員		0人				
	臨時・非常勤職員		0人	市の臨時・非常勤職員		0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		0.0%	H30年度 指定管理者損益		34,605円	評価			
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		46.0円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			11,250円	評価		
	指定管理によって、使用申請の受付・許可、鍵の開閉等に係る職員の人件費等が軽減されている。 なお、地域の伝統芸能の練習場としての利用が主となっているため、平成30年度から管理団体へ指定管理料を支払っている。			〔行革効果額の積算根拠〕				2		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	68,250	68,250	0			
				市支出額	57,000	27,000	30,000			
効果額				11,250	41,250	△30,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○	-	3
自主事業	熊野神社蘇民祭他	○	-	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	-	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	-	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	-	-	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	-	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	-	-	-	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	-	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等がなかったことを確認した。	-	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	-	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	-	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	-	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	-	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	-	-	-	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなし。関係機関への連絡、対応が適切に行われる体制となっていることを確認した。	-	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	-	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施していることを確認した。	-	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価 3
	利用者アンケート	調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、総会・集会等で直接聴き取りを行うことが容易であるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価	要望・苦情はなかった。	
		苦情・改善要望等	苦情・改善要望等はなかった。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり施設を定期的に清掃しているほか、周辺の草刈り、樹木の剪定等の環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好である。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度に改善すべき課題・問題点等はなかった。	これまでどおり良好な管理運営に努めた。	改善すべき課題等はない。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	江刺ふるさと市場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	岩手江刺農業協同組合	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	農林水産物および特産品等の販売を促進するとともに、消費者および生産者の交流により地域産業の振興を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	販売室、会議室、臨時販売室、屋外広場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺ふるさと市場		437,814	451,059	452,971	451,840	
							3
	(計)	437,814	451,059	452,971	451,840	99.8	
〔利用者の増減理由〕 広告宣伝や各種イベント・セールの実施、地域行事時の駐車場解放等で集客に努め、利用者数を概ね維持した。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0		0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	70,032,411		70,032,411		賃貸料		賃貸料		
	売上収入	681,559,199		681,559,199		その他		その他		
	事業雑収入	13,517,065		13,517,065						
	計	765,108,675	0	765,108,675		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	69,950,190		69,950,190	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		需用費	20,419,038		20,419,038		委託料		委託料	
		役務費	10,430,306		10,430,306		需用費		需用費	
		委託料	1,362,096		1,362,096		その他		その他	462,000
		販売等経費	647,591,022		647,591,022		計(B)	0	計(B)	462,000
賃借料		1,256,442		1,256,442	支出(B-A)		0	支出(B-A)	462,000	
租税公課		4,960,068		4,960,068	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
減価償却費		6,556,854		6,556,854		備品購入費		備品購入費		
その他		1,526,497		1,526,497		計(C)	0	計(C)	0	
計		764,052,513	0	764,052,513	支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	462,000	
損益	1,056,162	0	1,056,162							
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員		0人				
	臨時・非常勤職員	28人		市の臨時・非常勤職員		0人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	70,032,411	0	70,032,411							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		9.2%		H30年度 指定管理者損益	1,056,162円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			462,000円		評価	
	指定管理によって、施設の管理・運営に係る職員の人件費等が軽減されている。			〔行革効果額の積算根拠〕					2	
					H30	H29	比較			
				直営支出額	462,000	462,000		0		
				市支出額	0	0		0		
効果額	462,000	462,000		0						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の適正かつ円滑管理	○	—	3
自主事業	—	—	—	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に保守・点検が行われていた。	—	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守・点検が行われていた。	—	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	節電・節水等、省エネルギーに努めていた。	—	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	損害保険への加入を確認した。	—	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	—	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適切に行われていることを確認した。	—	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	新聞チラシやFM放送等を活用して広報していることを確認した。	—	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	—	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	クレーム発生防止マニュアルを作成する等、適切に行われていることを確認した。	—	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	適切に行われていることを確認した。	—	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われていることを確認した。	—	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	—	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	—	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	事故はなし。関係機関への連絡、対応が適切に行われる体制となっていることを確認した。	—	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	連絡網、対応マニュアル等を確認した。	—	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを聴取した。	—	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	3
		調査内容	—	
		調査結果	アンケート調査を実施することはいつでも可能であるが、お客さまから直接意見をいただき要望や改善策について検討することができるため、ペーパーによる調査は実施する必要がない。	
	要望・苦情等	良好とする評価	遠方からの農産物の注文や、「りんごやお米が美味しい」といった意見を貰っている。	
		苦情・改善要望等	「常時建物内部が暗いので照明の整備をして欲しい」、「通路が狭い」、「トイレの洋式化をして欲しい」との要望が寄せられている。	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	3
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	江刺地域の農畜産物および特産品等を効果的に販売・PRし、生産者・消費者交流の拠点施設となっている。また、地域農業者の所得向上にも貢献している。		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	施設利用者の更なる増加を図るため、各種イベント等を展開する必要がある。	引き続き各種イベント等を展開し、施設利用者の増加を目指している。	改善すべき課題等はない。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農政課
-------	--------

施設名称	奥州市胆沢牧野	施設所在地	胆沢郡金ヶ崎町
指定管理者名	岩手ふるさと農業協同組合	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	畜産の振興を図り、農業経営の安定に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	草地：156ha（放牧地：101ha 採草地：55ha） 施設：木造牛舎2棟（150頭規模（H14建設）及び98頭規模（H21建設））、管理棟、格納庫、収納庫、避難舎、堆肥舎	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(頭)	H28利用実績(頭)	H29利用実績(頭)	H30利用実績(頭)	前年対比(%)	評価
	夏期放牧頭数（奥州市胆沢牧野）		49,446	51,054	47,234	44,838	
冬期飼養頭数（奥州市胆沢牧野）		47,948	48,064	47,052	46,367	98.5	
	(計)	97,394	99,118	94,286	91,205	96.7	
〔利用頭数の増減理由〕							
その年の草地情勢や預託日数によって受入定数が増減するが、毎年ほぼ受入定数に達している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支			
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)	
					歳入	歳出	歳入	歳出
収入	指定管理料	50,762,000		50,762,000	使用料	41,654,118	使用料	29,253,940
	利用料金			0	賃貸料		賃貸料	
	自主事業			0	その他		その他	
	雑収入	4,774		4,774	牧草売払代金	4,221,950	牧草売払代金	12,309,990
	計	50,766,774	0	50,766,774	計(A)	45,876,068	計(A)	41,563,930
支出	人件費	25,054,799		25,054,799	指定管理料	50,762,000	人件費	
	需用費	23,828,187		23,828,187	委託料	0	委託料	41,574,480
	役務費	420,399		420,399	需用費		需用費	
	委託料	20,000		20,000	その他	12,000	その他	142,177
	使用料・賃借料	299,030		299,030	計(B)	50,774,000	計(B)	41,716,657
	租税公課	0		0	支出(B-A)	4,897,932	支出(B-A)	152,727
	その他諸費	1,089,833		1,089,833	維持修繕費	2,607,120	維持修繕費	131,208
	計	50,712,248	0	50,712,248	備品購入費	12,805,776	備品購入費	
損益	54,526	0	54,526	計(C)	15,412,896	計(C)	131,208	
				支出(B+C-A)	20,310,828	支出(B+C-A)	283,935	

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	0人
	臨時・非常勤職員	6人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
			0

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	49.4%	H30年度指定管理者損益	54,526円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	---------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	556.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕			△ 4,745,205円	評価
	指定管理によって、使用申請事務、飼養管理、入退牧手続き、衛生検査、採草等に係る職員の人件費等が軽減されている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29	比較	
		直営支出額	152,727	152,727	0	
		市支出額	4,897,932	3,592,392	1,305,540	
効果額	△ 4,745,205	△ 3,439,665	△ 1,305,540	1		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・ 牧野施設及び設備の維持管理に関する業務 ・ 牧野運営に関する業務	○		3
自主事業	なし			

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	小修繕・応急修理についてはスタッフが対応するなど、経費削減に努めている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による点検や作業による機械清掃、日常点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	随時の現地確認により、実施を確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネルギーに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	—	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	随時の現地確認等により、防疫のための石灰散布等も含めて適切に実施されている。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	市内外利用者ともに適切に執行されている。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	J A 広報等を活用して周知等を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	牧野及び J A 支所での受付体制を整え、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	丁寧に対応していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	—	—		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の定期報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	市が委託している法定点検の実施を確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	毎日の戸締り点検及び施設巡回の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	例年11月に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価 3
	利用者アンケート	調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現場職員の対応が良い。 ・牧野は農家にとって頼りになる存在である。 ・牧野があるから増頭することができる。 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・（受入可能頭数に達しているため、）牛を預けたい時に受け入れてもらえない。 ・妊娠鑑定を60日以内に行った場合でも、受け入れて欲しい。 	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 （指定管理者損益等）	3	
	2 経費等の状況 （行革効果）	1	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛の飼養戸数・頭数は減少傾向にあるが、胆沢牧野の夏期放牧・冬期飼養合計の利用実績は受入頭数の定数に達していることから、良好な運営管理がなされている。 ・利用者アンケートを行い、ニーズの把握及び施設管理の更なる向上を目指すことを望む。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 （施設所管課）	特になし	なし	利用者アンケートによるニーズの把握及び施設管理の更なる向上

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農地林務課
-------	----------

施設名称	胆沢水の郷未来館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	若柳第7区自治会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	自然環境保全意識の向上とコミュニティ醸成を図り、中山間地域の活性化を推進する。	指定管理料の有無	有
施設概要	管理室、体験交流室、研修室、農産物加工実習室、文化・スポーツホール	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢水の郷未来館		1,760	1,640	1,588	1,567	
							3
	(計)	1,760	1,640	1,588	1,567	98.7	
〔利用者の増減理由〕 各種事業開催数の減少に伴い、利用者も減少している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	520,000		520,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	3,000		3,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	163,057		163,057						
	計	686,057	0	686,057		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料	520,000	人件費	
		需用費	478,735		478,735		委託料		委託料	230,400
		役務費	8,000		8,000		需用費		需用費	
		委託料	113,252		113,252		その他		その他	
		使用料・賃借料	36,070		36,070		計(B)	520,000	計(B)	230,400
租税公課				0	支出(B-A)		520,000	支出(B-A)	230,400	
その他諸費		50,000		50,000	歳出 ※臨時的		維持修繕費	442,800	維持修繕費	476,814
計		686,057	0	686,057			備品購入費		備品購入費	
損益	0	0	0	計(C)	442,800	計(C)	476,814			
				支出(B+C-A)	962,800	支出(B+C-A)	707,214			

職員配置	常勤職員	0人	市の正職員	0人
	臨時・非常勤職員	0人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	86,400	83,400	3,000

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	0.0%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	331.8円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕			△ 289,600円	評価
			〔行革効果額の積算根拠〕				
	市支出の物件費(需用費、委託料)の削減			H30	H29	比較	
		直営支出額		230,400	230,400		0
		市支出額		520,000	520,000		0
			効果額	△ 289,600	△ 289,600	0	

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務等、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	2	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり利用されており、管理も適切に行われている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農地林務課
-------	----------

施設名称	しもやなぎ交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	しもやなぎ交流館運営委員会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	中山間地域の地域資源を活かしながら農業の振興、生活基盤の総合的整備、定住との交流の環境改善及び地域コミュニティの活性化を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	多目的ホール、調理実習室、集会室、研修室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	しもやなぎ交流館		754	757	777	658	
							2
	(計)	754	757	777	658	84.7	
〔利用者の増減理由〕							
各種事業開催数により、各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	7,500		7,500		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	154,564		154,564						
	計	162,064	0	162,064		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		需用費	110,438		110,438		委託料		委託料	
		役務費	7,000		7,000		需用費		需用費	
		委託料	17,764		17,764		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計	135,202	0	135,202	計(C)		0	計(C)	0		
損益	26,862	0	26,862	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員		0	人	市の正職員		0	人		
	臨時・非常勤職員		0	人	市の臨時・非常勤職員		0	人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	48,100	40,600	7,500							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度指定管理者損益	26,862 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
					〔行革効果額の積算根拠〕					3
					H30	H29	比較			
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
				効果額	0	0	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務等、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	無	評価 3
		調査内容		
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の梅を用いた特産開発に取り組み、地域の活性化に貢献している。 ・ 地域の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・ 実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	特になし		特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農地林務課
-------	----------

施設名称	上笹森交流館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	上笹森地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	多目的ホール、和室、調理実習室、コピー室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	上笹森交流館		2,478	2,058	2,206	2,759	
							5
	(計)	2,478	2,058	2,206	2,759	125.1	
〔利用者の増減理由〕 各種事業開催数により、各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	6,000		6,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	226,306		226,306						
	計	232,306	0	232,306		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	歳出 ※経常的	指定管理料		人件費	
		需用費	187,780		187,780		委託料		委託料	
		役務費			0		需用費		需用費	
		委託料	15,000		15,000		その他		その他	
		使用料・賃借料	29,526		29,526		計(B)	0	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計	232,306	0	232,306	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0人		市の正職員	0人					
	臨時・非常勤職員	0人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	193,500	187,500	6,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		0.0%	H30年度指定管理者損益	0円			評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕				3		
		H30	H29	比較						
	直営支出額	0	0	0						
	市支出額	0	0	0						
	効果額	0	0	0						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務等、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	自治会行事、子供会行事、農業関連会議、郷土芸能伝承活動、団体役員会、趣味等サークル活動、各種相談会	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	5	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり利用されており、管理も適切に行われている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農地林務課
-------	----------

施設名称	小黒石自然体験交流館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	古代の流れ源流「網代滝」を守る会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	多目的ホール、調理実習室、生き生きルーム、ユニバーサルホール、会議室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	小黒石自然体験交流館	1,086	1,340	1,293	1,103	85.3	
(計)	1,086	1,340	1,293	1,103	85.3		
〔利用者の増減理由〕 各種事業開催数により、各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	18,000		18,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	167,779		167,779						
	計	185,779	0	185,779		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料		人件費	
		需用費	157,287		157,287		委託料		委託料	
		役務費	7,000		7,000		需用費		需用費	
		委託料	21,492		21,492		その他		その他	
		使用料・賃借料			0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課				0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
						備品購入費		備品購入費		
計	185,779	0	185,779	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	0	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0人		市の正職員	0人					
	臨時・非常勤職員	0人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	140,700	122,700	18,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		0.0%	H30年度指定管理者損益	0円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0円	評価		
				〔行革効果額の積算根拠〕				3		
				H30	H29	比較				
	直営支出額			0	0		0			
	市支出額			0	0		0			
			効果額	0	0	0				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務等、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	古代の流れ源流「網代滝」を守る会事業 みずさわエコキッズ事業	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・地域の豊かな環境を守り、里山の自然・歴史を語り継ぐ活動の拠点施設として有効に活用している。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	農林部農地林務課
-------	----------

施設名称	新里地区振興会館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	新里地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民との相互の交流とコミュニケーションの醸成を図り、農業の振興と一体的な地域の活性化を推進するため。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	利用料金のみ
施設概要	ふれあいサロン、調理実習室、営農研修室、加工室、担い手研修室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	新里地区振興会館	1,940	1,837	1,779	1,785	100.3	
(計)	1,940	1,837	1,779	1,785	100.3		
〔利用者の増減理由〕 各種事業開催数により、各年の利用者に増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料			0	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	6,000		6,000		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	218,832		218,832						
	計	224,832	0	224,832		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費			0	※経常的 歳出	指定管理料		人件費	
		需用費	207,832		207,832		委託料		委託料	
		役務費	7,000		7,000		需用費		需用費	
		委託料	10,000		10,000		その他		その他	
		使用料・賃借料			0	計(B)	0	計(B)	0	
租税公課				0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費		
計		224,832	0	224,832		計(C)	0	計(C)	0	
損益	0	0	0	支出(B+C-A)		0	支出(B+C-A)	0		
職員配置	常勤職員			0人	市の正職員			0人		
	臨時・非常勤職員			0人	市の臨時・非常勤職員			0人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	186,900	180,900	6,000							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出			0.0%	H30年度指定管理者損益	0円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0円	評価
					〔行革効果額の積算根拠〕					
					H30	H29	比較			
					直営支出額	0	0	0		3
					市支出額	0	0	0		
				効果額	0	0	0			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の使用許可に関する業務、利用者等に関する窓口相談業務、維持管理及び修繕に関する業務等、警備及び清掃等の管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	地域活動（自治会行事、子供会行事、地域コミュニティ行事） 営農組合活動、郷土芸能活動、味噌・餅加工	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	日常的に点検が行われ、良好な管理がされている。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	日常的に点検を行っている。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	日常及び定期的な清掃を実施し、きれいな状態になっている。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	適正使用と認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正使用と認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正と認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	—		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	トラブルがなく、正確で適正な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	利用者から苦情はなかった。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	適切に行われており特に苦情等は発生していない。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	適切に行われていることを確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	管理マニュアルで連絡体制を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	防災訓練を自主的に実施した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価	清潔に管理されている。	
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の加工を手がけ雇用の確保と地域の活性化に貢献している。 ・地域の財産として、適正な管理・運営がなされている。 ・実質的に地元の集会施設であり、改めて利用促進を呼びかける必要性はない。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし		特になし